

地域公共交通確保維持改善事業(新モビリティサービス推進事業)・事業評価

令和6年1月30日

補助事業者名: 神戸電鉄株式会社

評価対象事業名: 地域交通キャッシュレス決済導入支援事業

①事業の結果概要	
(事業の実施内容、結果の概要等を記載)	
神戸空港の国際化に伴うインバウンド旅客の急増が予想されることから、神戸市内の観光・周遊においてスムーズな移動を促進するため、市内の各交通事業者と連携のもと、国際ブランドのクレジットカードによる直接的な(乗車券類を購入・引き換えすることなく)交通利用が可能となるタッチ決済システムを導入し、官民連携となって郊外の観光スポット(六甲山系・有馬温泉地区)への観光回遊性を向上させ、滞在価値・満足度の向上を図る。	
②事業実施の適切性	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の計画に沿って、事業が適切に実施されたかどうかを定性的に記載)
A	事業が計画に位置付けられたとおり、概ね適切に実施された。 既存の改札機の判定システムを流用するため、システム設計を緻密に行ったため、要件定義に時間を要したものの、システムの構築作業、関係者間での調整は概ね計画の通り進捗している。
③目標・効果の達成状況	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の目標値の達成状況等を定量的に記載)
A	市内の観光施設と連携した、新たな(街めぐりを促進させる)企画乗車券の組成に向け、神戸市の観光部局や各交通事業者と連携し、タッチ決済のサービス開始に関する共通プロモーションについて調整を実施。今後、神戸空港の国際化に向け、まずはプロトタイプとしてクルーズ船やチャーター便の旅客を中心に、タッチ決済の利便性をアピールする方向で調整中。クルーズ船到着時の現地視察によって、ターミナル最寄り駅の混雑状況は把握できており、関係機関との連携により利便性向上と観光訪問先の選択肢提供の実現可能性を確認している。なお、目標となる指標として、有馬温泉駅でのタッチ決済の取扱件数を目標設定しているが、神戸市内の鉄軌道・バス事業者等と連携して幅広くご利用可能になること、および共通プロモーションの効果により、これを達成できる見込みである。
④今後の改善点	
(目標値の達成状況等を踏まえ今後の改善点や、取組内容等を記載)	
事業計画に位置付ける各駅(谷上・有馬口・有馬温泉の3駅)でのクレジットカードによるタッチ決済システムの導入は予定通り完了する見込みで、今後は市内の観光施設と連携した、新たな(街めぐりを促進させる)企画乗車券の組成に向けて、各交通事業者と具体的に検討を進めたい。	

※事業実施の適切性における評価の凡例

- A: 事業が計画に位置付けられたとおり、概ね適切に実施された
 B: 事業が計画に位置付けられたとおりに実施されなかった点もあったが、それに対する課題の整理が図られた。
 C: 事業が計画に位置付けられたとおりに実施されなかった

※目標・効果達成状況における評価の凡例

- A: 事業が計画に位置付けられた目標を概ね達成した(する見込み)
 B: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)
 C: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)